

Bain Capital Private Equity、エビデントの全株式を取得する契約を締結

エビデントの製品イノベーションと既存および新規グローバル市場での事業拡大を支援

2022年8月29日 本日、世界有数のプライベート投資会社である Bain Capital Private Equity, LP（そのグループを含み、以下「ベインキャピタル」）は、オリンパス株式会社（以下「オリンパス」）との間で、同社の完全子会社で科学事業を手掛ける株式会社エビデント（以下「エビデント」）の全株式を取得する最終契約を締結したことを本日発表しました。

エビデントは、ライフサイエンスおよび産業用アプリケーションの顕微鏡、遠隔目視検査用ビデオスコープ、非破壊検査装置などの世界有数のメーカーです。エビデントは、独立した企業として、100年以上にわたる画像処理、計測ソリューションのイノベーションを継続し、深く幅広い顧客との関係、業界最高の技術、研究開発と精密製造における差別化された機能を有する企業です。

ベインキャピタルの日本代表である杉本勇次は、次のように述べています。

「エビデントの経営陣と提携し、デジタル製品およびソリューション、ワークフロー統合、オートメーション事業の成長という同社の目標の実現を支援できることを大変嬉しく思っています。ベインキャピタルのグローバルなリソースと私たちのチームが蓄積してきた経験をフルに活用し、エビデントが魅力的な成長機会を実現し、すべてのステークホルダーに価値を創造できるよう支援してまいります。」

ベインキャピタルの北米におけるマネージングディレクターであるスティーブン・トーマスは、次のように述べています。

「エビデントは、ライフサイエンスと産業用エンドマーケットにおけるデジタル光学技術の先端企業あり、独立企業として新製品、新顧客、新市場に進出する大きな可能性を秘めています。」

Bain Capital Private Equity は、II-VI、キオクシア、サンセータ、NXP など、世界的に産業技術企業の成長とイノベーションを支援してきた豊富な経験を有しています。ベインキャピタルのヘルスケア並びにライフサイエンス分野のグローバルプラットフォームは、病理学とライフサイエンス機器において同様の豊富な経験を有しています。

本投資は、規制当局の承認と終了条件を満たすことで 2023 年の第 1 四半期に完了する予定です。



ベインキャピタルについて

ベインキャピタル (<http://www.baincapital.com>) は、経営のパートナーとして事業のバリューアップ支援に注力する世界最大級の投資会社であり、総額約 1,600 億ドルのファンドを運用しております。1984 年の創業以来、さまざまな業種にわたり、世界中で約 300 社のプライベートエクイティ投資、追加的投資を含めると約 1,000 社を行っており、事業会社・経営コンサルティング会社・投資銀行・弁護士など様々なバックグラウンドを持つ約 550 名の専門家チームが企業への新規投資や既存投資先の経営支援に従事しています。ベインキャピタルは、本社をボストンに置き、東京、香港、上海、ムンバイ、ニューヨーク、シカゴ、ロンドン、ミュンヘン等に拠点を有しています。